

プレゼンテーションソフトウェアの使い方

プレゼンテーションを行うときに、専用のソフトウェアを活用すると効果的な場合がある。コンピュータなどの情報機器を使いこなして、情報をうまく相手に伝達できるようになろう。

1 起動と終了

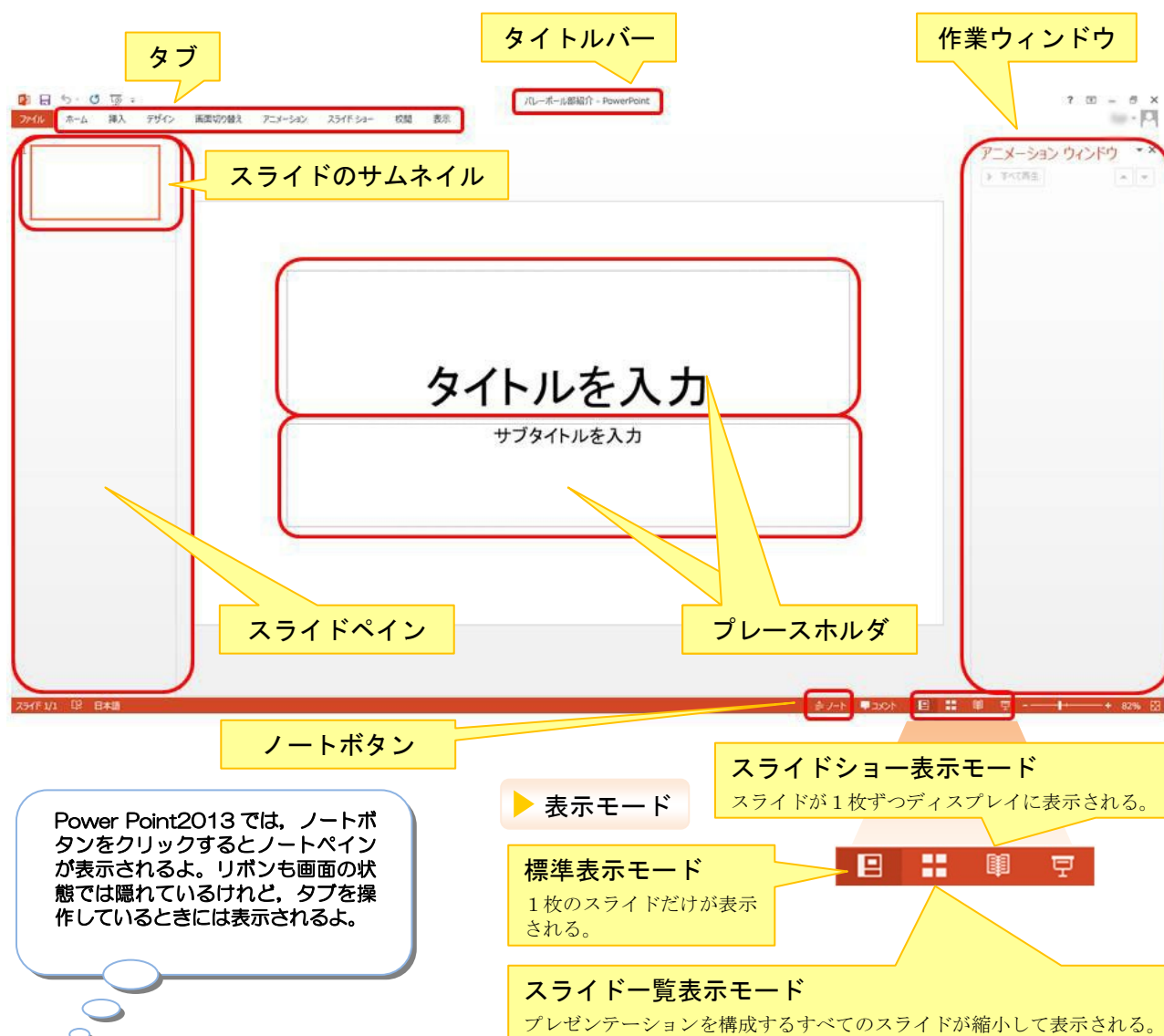
▶ ソフトウェアの起動方法

- アプリから起動する。
- アイコンをダブルクリックする。

▶ ソフトウェアの終了方法

- 右上の「閉じる」ボタンをクリックする。
- ファイルから閉じる。

▶ プレゼンテーションソフトウェアの画面構成



2 スライドの操作



[ホーム]タブ→
[スライド]で操
作できるよ。



▶ テキストの入力

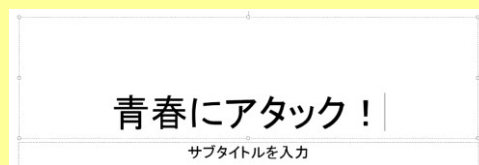
手順 1 ソフトウェアを起動すると、スライドペインに「タイトル」スライドが表示される。



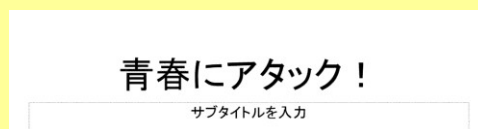
手順 2 タイトルプレースホルダをクリックする。



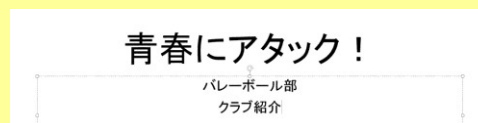
手順 3 タイトルを入力する。



手順 4 タイトルプレースホルダ以外のスライド上でクリックすると、点線枠の表示がなくなる。



手順 5 サブタイトルプレースホルダをクリックし、入力する。



▶ スライドの追加

手順 1 [スライド]の [新しいスライド] をクリックする。



「スライド 2」が表示される。



▶ レイアウトの選択

手順 1 [スライド] の [レイアウト] をクリックする。

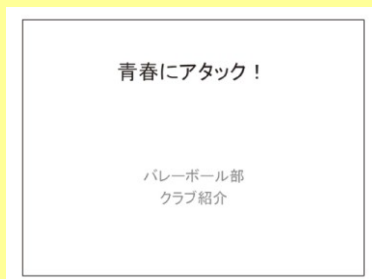
手順 2 スライドのレイアウトの一覧が表示されたら、[タイトルとコンテンツ] をクリックする。



練習問題 1

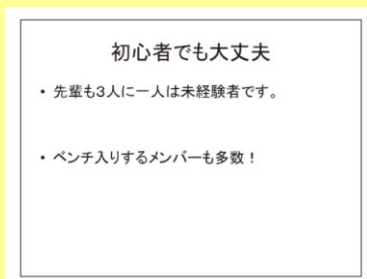
以下のようにスライドを追加して、文字を入力しよう。

スライド 1



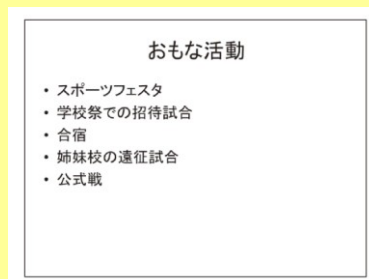
レイアウト：タイトル

スライド 2



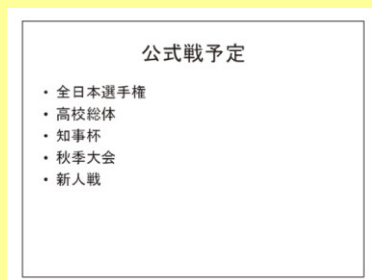
レイアウト：タイトルとコンテンツ

スライド 3



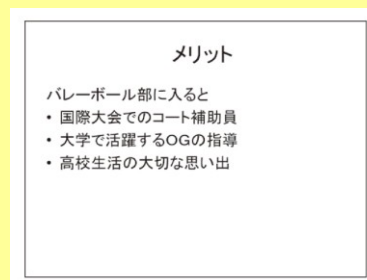
レイアウト：タイトルとコンテンツ

スライド 4



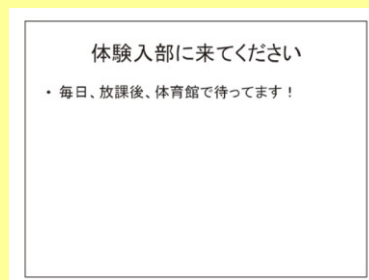
レイアウト：タイトルとコンテンツ

スライド 5



レイアウト：タイトルとコンテンツ

スライド 6



レイアウト：タイトルとコンテンツ

プレゼンテーションで文字を表示させる場合の注意点

投影する大きさや写り具合などを考慮して、文字のレイアウトを考える。

説明しながら見せるスライドは、キーワードだけにするなど文字をなるべく少なくすると見やすくなる。

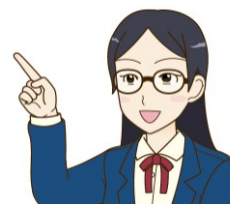


3 テキストの編集



文字のフォントやサイズ、色は、文書処理ソフトウェアと同じように変更できるよ (p.21 参照)。

テキストの編集は [ホーム] タブ→[フォント] [段落] で操作できるよ。



練習問題 2

スライドの文字のフォント、サイズ、色を変更しよう。

■ 操作内容

1. スライド 1 の文字を以下のように変更する。
 - ・「青春にアタック！」のフォントをポップ体に、サイズを 72pt にする。
 - ・「バレーボール部」「クラブ紹介」のサイズを 54pt に、色をオレンジにする。
2. スライド 2～6 の文字のサイズをすべて 44pt にする。

スライド 1

青春にアタック！

バレーボール部
クラブ紹介

4 オブジェクトの挿入



練習問題 3

スライドに図やクリップアート、ワードアートを挿入しよう。

スライド 2

初心者でも大丈夫

- ・先輩も3人に一人は未経験者です。

↓

- ・ベンチ入りするメンバーも多数！

努力次第でレギュラーに

スライド 3

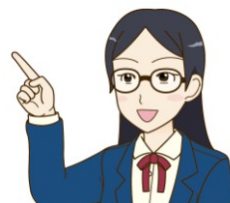
おもな活動

- ・スポーツフェスタ
- ・学校祭での招待試合
- ・合宿
- ・姉妹校の遠征試合
- ・公式戦

■ 操作内容

1. スライド 2 に、上のように矢印の図形を挿入する。
2. スライド 2 に、上のようにワードアートを挿入する。
3. スライド 3 に、上のようにクリップアートを挿入する。

オブジェクトの挿入は [挿入] タブ→ [図] [テキスト] で操作できるよ。



図やクリップアート、ワードアートなどの挿入も文書処理ソフトウェアと同じようにできるよ (p.23 参照)。

5 効果の設定



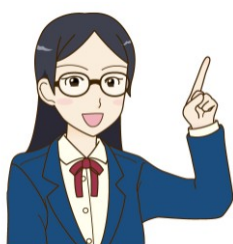
スライドには、アニメーションや画面切り替えなど、いろいろな効果をつけられるよ。

アニメーションの設定は「アニメーション」タブで操作できるよ。



▶ アニメーションの設定

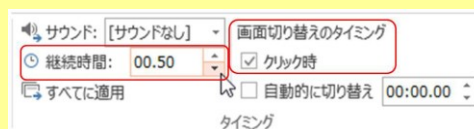
- 手順 1** スライドペインでスライド3をクリックする。
- 手順 2** 簡易書きテキストのプレースホルダをクリックして選ぶ。
- 手順 3** 「アニメーション」の「アニメーションの追加」をクリックし、「開始」の「スライドイン」をクリックする。
- 手順 4** 「プレビュー」ボタンをクリックし、効果を確認する。



画面切り替えの設定は、「画面切り替えタブ」でできるよ。

▶ 画面切り替えの設定

- 手順 1** スライドペインでスライド4をクリックする。
- 手順 2** 「画面切り替え」→「フェード」をクリックする。
- 手順 3** 「タイミング」の「継続時間」を「00.50」とし、「画面切り替えのタイミング」は「クリック時」をクリックする。



- 手順 4** 「プレビュー」ボタンをクリックし、効果を確認する。

効果は考えて使わないと、聞き手に意図が伝わらず、逆効果になることもあるよ。

6 図解による表現

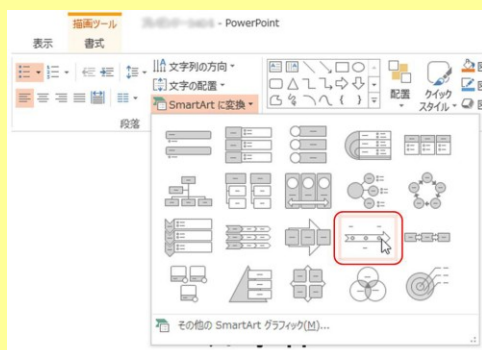
▶ SmartArtグラフィックの利用

手順1 スライド4を表示し、^{かじょう}箇条書きテキストのプレースホルダをクリックして選ぶ。

手順2 [ホーム] タブ→[段落] の[SmartArtグラフィックに変換]^{へんかん}をクリックする。



手順3 表示された一覧から、[タイムライン]をクリックする。



SmartArtを使うと、より視覚に訴えたスライドにできるよ。

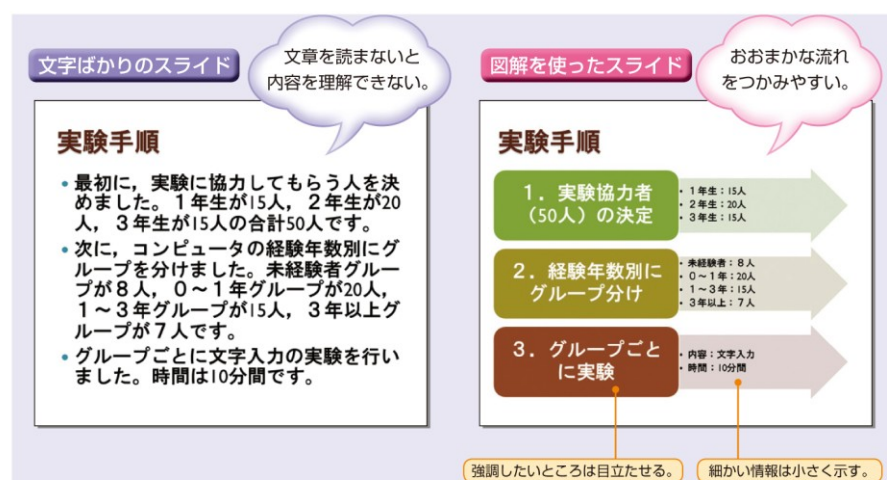
手順4 [SmartArt ツール] → [デザイン] → [色の変更]^{へんこう}をクリックして、[カラフル-アクセント2から3]をクリックする。



図解表現のポイント

(→資料3-4)

情報をわかりやすく伝える手段の一つに、図解がある。文字ばかりのスライドよりも、図解を用いたスライドのほうが内容をつかみやすい。



図解を使うと、よりわかりやすくなるね。

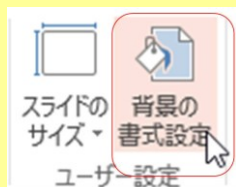


7 色による表現



▶ スライドの背景色の設定

手順 1 [背景の書式設定] をクリックする。



手順 2 [背景の書式設定] ダイアログボックスの「塗りつぶし」をクリックする。

手順 3 [塗りつぶし (単色)] をクリックして、「色」の▼ボタンをクリックし、色を選ぶ。

手順 4 [すべてに適用] ボタンをクリックし、ダイアログボックスを閉じる。



スライドの背景色やデザインは[デザイン]タブで操作できるよ。



スライドデザインの設定

手順 1 [ドキュメントテーマ] の[その他]のボタンをクリックする。



手順 2 [組み込み] から目的のドキュメントテーマを選び、クリックすると、すべてのスライドに適用される。



スライドデザインを設定すると、背景色や文字の色なども自動的に変更されるよ。



スライドのテーマや背景色はスライドごとにすることもできるけれど、あまりスライドごとに変えてしまうと、統一感が失われてしまうよ。

色による文字の表現

(→資料 3-4)

見やすくわかりやすいスライドにするには、強調したいところを目立たせたり、伝えたいことを色であらわしたりするなど、目的に合わせて色を効果的に使うことも大切である。

悪い例



背景と文字の色の明るさの差が小さいと読みづらい。

よい例



文字と背景色の明度差を大きくする。

白の文字を太くする。

8 スライドショーと資料作成



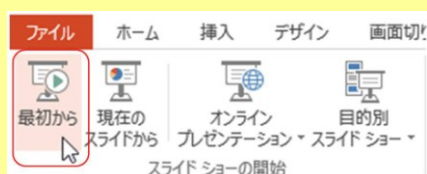
やっとスライドデータが完成したよ。いよいよ本番ね。

スライドショーの操作は「スライドショー」タブで行うのよ。



▶ スライドショーの実行

手順 1 「スライドショーの開始」→「最初から」をクリックする。



青春にアタック！

バレーボール部
クラブ紹介



文字や画像がきちんと見やすく表示されるかを本番前に確認しておかないとだめだよ。

手順 2 スライド上でクリックすると、次のスライドに進む。ほかにも、スライドを移動するのに以下のキーを使うことができる。

スライドの移動に使うキー

- 次のスライド：
→キー，↓キー，[スペース]キー，[Enter]キー，[PageDown]キー，[N]キー
- 前のスライド：
←キー，↑キー，[BackSpace]キー，[PageUp]キー，[P]キー
- 最初のスライド：[Home]キー
- 最後のスライド：[End]キー
- 指定したページ番号のスライド：
テンキーを押した後に [Enter] キー

▶ プレゼンテーション資料の印刷

手順 1 「ファイル」→「印刷」をクリックする。



手順 2 用途に応じて印刷レイアウトや部数などを設定し，「印刷」ボタンをクリックする。

